

ほけんだより

2023年9月号



園長 山下 優美
看護師 吉木 美恵

9月9日は救急の日

不慮の事故！

1. 子どもの死亡事故の現状

- ①子どもの不慮の事故死は、病気を含む全ての死因の中で上位。
- ②不慮の事故による子ども（0～14歳）の死亡者数は減少傾向にある。

令和2年の死因順位

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
0歳	先天奇形, 変形及び染色体異常	周産期に特異的な呼吸障害等	乳幼児突然死症候群	胎児及び新生児の出血性障害等	不慮の事故
1～4歳	先天奇形, 変形及び染色体異常	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	インフルエンザ
5～9歳	悪性新生物	不慮の事故	先天奇形, 変形及び染色体異常	心疾患	インフルエンザ
10～14歳	自殺	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	先天奇形, 変形及び染色体異常

2. 年齢別の死亡事故発生比率

- ①平成 28 年～令和 2 年の 5 年間の子どもの不慮の事故約 1,300 件のうち、0 歳が 350 件で、0～14 歳の事故の 1/4 を占める。
- ②0 歳～4 歳で 0～14 歳の事故の 55% を占める。

3. 年齢別に多い死亡事故の割合

平成 28 年～令和 2 年の 5 年間では窒息、交通事故、不慮の溺水が死因の上位。

- ①「窒息」は、0 歳で圧倒的に多く発生。(ベッド内での不慮の窒息及び絞首 等)

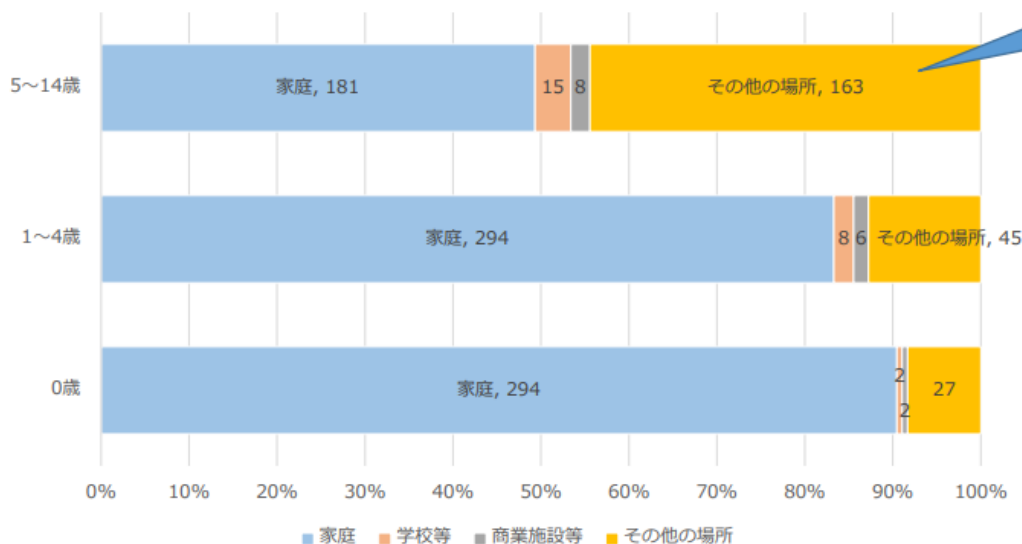


- ②「交通事故」は、2 歳以上で全て 1 位。
- ③「溺水」は、1 歳、3 歳以上で 2 位。また、3 歳、5 歳以上で自然水域での事故が上位。
- ④「建物からの転落」は、3 歳、4 歳と 10～14 歳が多い。

4. 死亡事故発生場所

平成28年～令和2年の5年間では、交通事故をのぞく事故発生場所は、家庭内がほとんどを占め、年齢が上がるにつれその他の場所の割合が増加。

年齢別の事故発生場所（平成28年～令和2年）



163件中、90件が海・川等自然水域での溺水事故

家庭内では、「窒息事故」「建物からの転落事故」「溺水事故」に注意が必要です。

溺水事故の約半数は浴槽で起きています。



子どもの不慮の事故の発生傾向
～厚生労働省「人口動態調査」より～
令和4年3月23日 消費者庁消費者安全課

子どもが誤飲したかも！

誤飲対処早見表

飲んだものによって、緊急性の高いものや吐かせてはいけないものがあります。

症状	救急車を呼ぶ場合	<ul style="list-style-type: none"> ■ 苦しそうな呼吸 ■ 窒息・顔色が青白い ■ けいれん ■ ぐったりしてよびかけてもぼんやりしている
	急いで受診 (このような場合は救急車でも)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 突然咳き込み始めた ■ 声がかすれている ■ ゼーゼー、ヒューヒューした呼吸 ■ 吐く、下痢、腹痛など

基本的には、**吐かせずに、同じものを病院に持参して受診しましょう!**

応急手当が分からないときや受診の必要性は、医療機関や子ども医療電話#8000に相談しましょう。

飲んだもの	救急車を呼ぶ場合	◆ 灯油、ベンジン、除光液、農薬、殺虫剤、ネズミ駆除剤
	急いで受診 (症状がなくても)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ボタン電池 ◆ 鋭利な異物(ヘアピン、針など) ◆ 磁石 ◆ 洗剤(トイレ用スタンプ、液体洗剤)・吸水性樹脂・水で膨らむビーズ・芳香剤・消臭剤・防虫剤・漂白剤 ◆ たばこ(吐かせる) ◆ 薬(お薬手帳があれば持参) ◆ コインやおもちゃ等
	家で様子を見る 診療時間内に受診	◆ 少量のインク、クレヨン、絵の具、粘土、化粧品(口紅・ファンデーション)、石けん (心配な場合は電話などで相談)

■ (公財)日本中毒情報センター 中毒110番 ■

化学物質(たばこ、家庭用品など)、医薬品、動植物の毒などによる中毒事故が実際に起きて、どう対処したらよいか迷った場合は相談してください。

◆ 大阪中毒110番(24時間対応)

☎ 072-727-2499

◆ つくば中毒110番(9時~21時対応)

☎ 029-852-9999

子どもを事故から守る! 事故防止ハンドブックより

事故が起きないように事前に防ぐ事が第一ですがもしもの時の為に携帯電話に番号登録しておきましょう!